

PI

RE

RO

I



vol.08

神奈川県ライフセービング連盟会報誌ピアワン 通巻8号



RESCUE2006

北矢選手、涙の銀メダル奪取！



開催日：2006年2月14日～18日

プール2月14, 15日 ビーチ2月17, 18日

場所：オーストラリア・ビクトリア州 Geelong/Lorne

主催：国際ライフセービング連盟

参加国：33カ国

日本選手団編成

団長 小峯力 日本協会理事長

監督 遠藤大哉 日本協会競技委員会副委員

男子選手

林昌広キャブテン（湯河原LSC）

池谷薰（柏崎LSC） 青野武士（茅ヶ崎SLSC）

青木将展（柏崎LSC） 長竹康介（西浜SLSC）

北矢宗志（西浜SLSC）

女子選手

稻垣裕美 副キャブテン（大竹SLSC）

鈴木祐蘭（岩井LSC） 鈴木佐弥子（九十九里LSC）

伊藤彩香（九十九里LSC） 中曾根麻世（九十九里LSC）

藤原梢（平塚LSC）

コーディネーター 沢澤千春 日本協会国際担当

ボランティアコーチ 青木克浩（柏崎LSC）

通訳ボランティア 西嶋智美（茅ヶ崎SLSC）

通訳ボランティア 川上さくら（大竹SLSC）

総合順位

プール競技総合 12位 (65ポイント)

SERC10位 (7ポイント)

ビーチ・オーシャン競技総合 7位 (156ポイント)

総合12位 (228ポイント)

ビーチ・オーシャン競技2日目には、メダルへの期待に押しつぶされそうなプレッシャーに耐え、続けて今日に備えてきた北矢・藤原両選手が、出場するビーチフラッグスが待ち構えていた。北矢選手とも順調に決勝まで駒を進め、藤原選手は、遊佐選手の出場辞退を受け、遅れてのナショナルチーム入りで心身ともにコンディションニングにも苦労があったかと思われる中で6位獲得。ポイント追加に貢献してくれた。

一方、北矢選手は決勝の1回目のレースで、隣を走っていたアメリカの選手との接触により、フラッグを取り損なつてしまつというハプニングが起つてしまつた。直ちに北矢選手と遠藤監督は、アメリカの選手のインターフェアをジャッジにアピールした。チームで撮影をしていたビデオと、日本から応援に駆けつけていた北矢選手と同じ西浜SLSCのメンバーが正面から撮影していたビデオも資料として確認して貰うことができ、結果として抗議が認められた。アメリカの選手は失格となり、北矢選手はその後もレースを続けることができることになった。もう負けるわけには行かない・という気迫を体全身にみなぎらせて、次々とレースを勝ち進み、メダル獲得が確実になつたときには誰もが、「ここ」まで來

たら金だって夢じゃない！」という気持ちになつた。いよいよ最後の1本を競う相手は、おなじみモーガン・フォスター（N.Y.選手）。静寂の中、ホイップルの合図で完璧なスタート。しかし最後のフラッグを手にしたのは、残念ながら北矢選手ではなかつた。モーガン・フォスターの優勝が決まり、北矢選手はモーガン選手とともに、堅い握手で健闘を讃えあつたが、同時に人目をはばからず声を上げてしばし男泣き。メダル獲得の喜びとプレッシャーから開放された安堵感の他に、北矢選手の涙にはもうひとつ理由があった。世界大会出場の晴れ舞台を、家族で応援に来られた準備をしていたにもかかわらず、出発を目前にしてお父様が倒れられたのだ。急遽家族全員旅行を取りやめ看病にあたることとなり、北矢選手は看病状態を心配しながら日本を出発してきた。彼は何とか病床に良いニューズを伝えられるよう、頑張りたいとの強い思いがあつたのだった。メルボルンへ向かう飛行機の中でこの話を聞いていた私は、競技エリアから出てきた北矢選手に携帯電話を手渡し、その場で報告の電話をするよう促した。電話の向こうの家族の祝福の言葉に、何度も「ありがとう」と泣きながら繰り返す光景に、私も思わず涙がこぼれた。

北矢選手、ビーチフラッグス銀！男泣きのわけ。

神奈川県ライフセービング連盟に加盟のクラブ（順不同）

- 横浜海の公園サーフライフセービングクラブ
- 三浦海岸サーフライフセービングクラブ
- 茅ヶ崎サーフライフセービングクラブ
- 湘南ひらつかライフセービングクラブ
- 鎌倉サーフライフセービングクラブ

- 二宮ライフセービングクラブ
- 辻堂ライフセービングクラブ
- 葉山ライフセービングクラブ
- 逗子ライフセイビングクラブ
- 大磯ライフセービングクラブ
- 西浜サーフライフセービングクラブ
- 湯河原ライフセービングクラブ
- サーフ90ライフセービングクラブ
- 東海大学湘南校舎ライフセービングクラブ
- 専修大学サーフライフセービングクラブ

- 文教大学ライフセービングクラブ
- 玉川ライフセービングクラブ
- 鎌倉ライフガード

漁師の教え



かつて横浜市役所の職員だった頃、金沢区役所から配置された部署は、横浜金沢地先の埋立事業であった。当時、金沢地先の埋立事業においては、地元漁業組合との難交渉の結果、補償金の支払いとともに、埋立地においては漁業者の転業対策の場を配慮することが双方で確認されていた。横浜海の公園砂浜の管理や清掃などの仕事には、随所に転業対策が施され、私の担当者として赴任したのだった。

「もっと島のキワのほうに行くべえよ！」「ああ？ 少いよお、ならいの風が吹いてきたんべえ、シケんべよお。」「ああがよく、こちだべえ、いけんべえよお～！」

漁師さん達は何言ってるんだ？ 日本の地方に行つたのであれば、意味が理解できない方言に遭遇することもあるが、地元横浜・金沢の言葉で、日本人が話す言葉が理解できないとは正直びっくりした。まるで言葉がまったく通じない外国の地で、一人途方に暮れる錯覚に陥つたような出来事だったが毎日のように会話することにより、徐々に理解できてくれるようになった。

ちなみに「きわ」とは陸地の近くのこと、言い、「ならい」とは主に冬に多く吹く強い北～北東風、「こち」とは主に東風のことを目指す。真冬のない風は、東京湾をシケにさせる。

海の公園で働く元漁師さん達の会話は、とても大きいが、いつも底抜けに明るく笑い声に包まれていた。雨の日に管

理事務所に行くと、外仕事ができないため、皆で何かの道具の修理や手入れなどをしながら、普段（戦前～戦後の話）に花を咲かせて大いに盛り上がっていた。

お天道様は必ずオレ達を見てるんよ！

あるときは、「こんな話で盛り上ががっていた。

秋のお祭りの夜は、成人式された漁師の男たち全員で花柳街に繰り出されたという。若い男ならば分かるが、中には現役の漁師の仕事をもつらう？ とうに引退しているヨボヨボのおじいちゃんまでもが、とにかく海の「男」として全員で行くのだそう！

今だつたら奥様方が絶対に許さないでしょう！」若い衆の中には、その夜から何日間も家に帰つてこない者が必ずいるという。そういう時に

は、親戚の男衆が金をかき集めて、誰かが若い衆を引き取りに花街へ行くのだそうだ。

むかし金沢の海は、夏島・野島・平方湾を擁して「金沢八景」といわれるほど、それはそれは風光明媚な景勝地であったという。伊藤博文や著名人の別荘が数多くあり、江戸前の魚は別荘などに高価で仕出しされて、金沢の漁師さんはみな羽振りが良かつたのだそうだ。

今回は、そんな金沢の元漁師さんから教わったことを伝えたいと思う。

漁師の船で、左舷は「ころ魚を取り込むとき」に使うが（映画「老人と海」でも同じだった）ので世界共通かも？ 右舷はどういう時に使うかを知つている人は少ないはずだ。それは、仏さまを引き揚げる時に使うのだそうだ。

当時でも、そう多くはなかったはずだが、永年漁をしていると、亡くなつて何日、時には何週間も経過した仏さまを海で発見することが必ずあつたという。すでに仏さまは腐乱し始めているので見ぬふりをしてしまう者がいるという。

しかしそうしてしまった漁師さんは、その年は必ず不漁続きになると言う。逆に仏さまを大切に引き上げた漁師さんは、その年は必ず大漁に恵まれるという。そこには元漁師さんたち全員が、「不思議にそうなんよう、お天道様（てんとうさま）は必ず見ていらんよ！」と全員が真顔で頷きあつていた。

必ず神様は見ていると 彼らから教わった

世の中で、樂をしようと思えば、見ぬふりすることは、いとも簡単である。しかし勇気を持つて、人のために、世のために実行する人は、必ず神様がついているんだと、横浜・金沢の元漁師さん達は我々ライフセーバーに教えてくれた。

今は全員が天国に召されてしまったが、貴重な海の公園時代の経験は、私や座間理事をはじめとする多くのライフセーバーを「人」として育てています。本年度「プロジェクト」と「スクリーン」を購入する予定になっています。

これからはパワーポイント等でまとめられた講義展開、動画や写真など視覚で、より理解やすい講習会指導を実施することが可能となるでしょう。

加藤道夫 プロフィール

横浜海の公園ライフセービングクラブ創始者。日本ライフセービング協会（JLA）インストラクターとして活躍。97年 神奈川県支部設立と同時に理事に就任。01年 県連盟設立と同時に理事に就任。03年4月 県連盟理事長及びJLA理事に就任。株式会社サーフェジェンド（波伝説）代表



横浜市役所時代の筆者（写真右）。地元の漁師さんと一緒にパトロールへ。

資格認定講習会を 実施しています。

第一戦で活躍している
インストラクターが！

講習会の紹介は4ページに掲載しております。
講習会スタッフの募集要項もしておりますので、詳しく述べてこちらをご覧下さい。

インストラクターを曰指 して！

神奈川県連盟の講習会では、講習会スタッフを随時募集しております。資格取得後しばらく経つて知識・技術を忘れてしまった方、インストラクターの指導方法を勉強したい方、今後インストラクターを目指している方など目的は様々ですが、意欲的な皆さんの参加大歓迎です。講習会スタッフの方が講習指導を担当することはありません。「了承ください。」

講習会の紹介は4ページに掲載しております。
講習会スタッフの募集要項もしておりますので、詳しく述べてこちらをご覧下さい。

それはマネキンではなく、ガスで膨らんでシワがなくなつた、なんと仏さまであったのだ。元漁師さん達は、素早く要らなくなつた漁網を上手く縫い合わせて、簡単な担架を作ってくれた。（ライフセーバーが全員で仏さまをすぐつて岸に運んだのだが、水面から上がつ瞬間に物凄い異常に包まれた。誰もが顔を背けて、担架から離れようと手の力を抜こうとしたまさにその時、岸に包まれた。誰もが顔を背けて、担架から離れた。）「こらあ～！ おめえたち、仏さまを自分の親だと思え～！」いつも馬鹿話をばかりしている元漁師さんの一人が、鬼の形相で私を含むライフセーバーを一喝した！ その後、気持ちを何とか立て直してお渡しした。

後に先ほど叱られた元漁師さんに全員が呼ばれた。その手には日本酒の一升瓶と湯飲み茶碗があつた。簡単なねぎらいの言葉の後に、同じ湯のライフセーバー全員が、人の変わり果てた姿にすっかり動搖して落ち込んでいた。軽いP.T.S.D.であつたろう。しかし、酒は「気付け薬」とは良く言つたもの。空き腹に日本酒が流し込まれると動搖していた気持ちがすっと自然に落ち着くつくではないか。お酒には、こんな素晴らしい生き方があるんだなあと、つくづく感心したのを今でも覚えている。

その後、簡単に縫い合つた漁網を、海水浴客や砂浜利用者、海の家関係者、地域住民、そして天国の神様となる各地の元漁師さんたちが、きっと暖かく見守ってくれるはずだ。

2006夏、自分が納得できたシーズンをぜひ（アドバンス講習会ではスイムやボードなど）の細かな技術的指導も彼が行っています。ラインスマートランなど、フィットネスの講習会

会項目においても受講生に負けず劣らず行っています。インストラクターもいます。

今年度4月、J.L.A（日本ライフセービング協会）主催の「インストラクター養成講習会」が開催されました。神奈川県連盟の講習会指導が登壇門の講習会の現場では、インストラクターから、他のインストラクターから、ライフセービングの知識・技術、そして指導方法などを学ぶことができる、とてもよい環境となっています（インストラクターの皆さんとても勉強熱心！）。



K.L.F Information

K.L.F事務局からさまざまな情報をお知らせします。

神奈川県連盟では以下の講習会を開催しております

ライフセービング活動において、資格は財産でもあります。仕事や勉強で等でお忙しいかと思いますが、是非とも資格を取得、または継続し活動を続けてほしいものです。受講される方も、そうでない方も積極的なライフセービング事業への参加を願っております。

ベーシック・サーフ・ライフセーバー講習

講習時間	35時間 (7時間×5日)
講習内容	ライフセービング概論、海に関する知識、海浜での救助法、応急手当蘇生法、ビーチバトロール概論他ライフセーバーとして、海岸での救助活動に必要な基礎的な技術を習得します。 ライフセーバーへのファーストステップです。
第1回	6月10日(土)・11日(日)・16日(金)・17日(土)・18日(日)
第2回	6月21日(水)・22日(木)・23日(金)・24日(土)・25日(日)
第3回	6月23日(土)・24日(日)・29日(金)・30日(土)・10月1日(日)

アドバンス・サーフ・ライフセーバー講習会

講習時間	28時間 (7時間×4日)
講習内容	救助技術・事故想定トレーニング、ビーチマネージメントマリンスポーツの知識、救助器材の活用と管理、蘇生法、検定試験(学科および実技) 海岸での救助活動に必要な、より高度な技術を習得します。自らの実力を高め、救助のスペシャリストとなることを目指します。
第1回	5月6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)
第2回	10月21日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)(予定)

更新講習会

講習時間	3時間 (3時間×1日)
講習内容	最近のライフセービングの動向(学科)、心肺蘇生法の確認(学科および実技)、検定試験(学科および実技)。過去にベーシックおよびアドバンス・サーフ・ライフセーバー、ウォーター・ライフセーバーの資格認定を受けた方の資格更新をする講習会です。 以下のどちらかの条件に当たる方が受講可能となります。 ●資格有効期限が切れている方 ●資格有効期限まで6ヶ月を切っている方
第1回	5月7日(日)
第2回	10月22日(日)(予定) 第3回、第4回、第5回は未定です。

心肺蘇生法講習会

講習時間	7時間 (7時間×1日)
講習内容	心肺蘇生法(CPR)の重要性と心肺蘇生法(CPR)の基本的な知識及び手順、訓練用ダミーを用いた技術の習得、検定試験等日常生活の中で、いつ出くわすとも限らない事故。これに対処できる知識と技術を習得する講習会です。 心肺蘇生法(CPR)の普及及び社会復帰率の向上に貢献することを目的とし、成人に対して1人で実施する心肺蘇生法(CPR)の習得を目指す講習会です。

※講習会によって受講料、受講対象、取得資格、有効期間が異なります。受講を希望する時は事務局に問い合わせて下さい。

※各講習会とも受講者が10名に満たない時は、中止になる場合があります。

2005年度の資格認定講習会実施の報告

昨年度、JLA資格認定講習会「ベーシック・サーフライフセーバー講習会」「アドバンス・サーフライフセーバー講習会」「更新講習会」を藤沢市鶴沼海岸及びサーフビレッジにて開催しました。ベーシック講習会(4回)100名、アドバンス講習会(1回)21名、更新講習会(3回)62名の方が受講されました(合計183名)。

ベーシック講習会

実施期間	男性	女性	合計
6月11日、12日、17日、18日、19日	27名	9名	36名
6月22日、23日、24日、25日、26日	7名	5名	12名
7月2日	18名	12名	30名
9月3日、4日、17日、18日、19日	12名	10名	22名

アドバンス講習会

実施期間	男性	女性	合計
5月7日、8日、14日、15日	14名	7名	21名

更新講習会

実施期間	男性	女性	合計
3月13日	7名	2名	9名
5月8日	12名	5名	17名
10月30日	16名	20名	36名

Report 鎌倉ライフガード

鎌倉LG 高橋眞樹



「安全・きれい・楽しい」をモットーに活動している鎌倉ライフガードです。

観光地としても有名な鎌倉には、材木座海岸、由比ガ浜海岸、腰越海岸の三つの海岸があり、それぞれの浜の特性にあった監視業務を心がけています。特に材木座海岸と由比ガ浜海岸はひとつの大きな湾になっているため、海のコンディションが変化しやすく、柔軟な判断と対応が求められます。そのためにもシーズン中の救助技術のトレーニングはもちろんですが、オフシーズンも海へ出たり、サーフィンやアウトリガーカヌーなどで楽しみながら、体力づくりやメンバー同士のコミュニケーション作りをしています。

また地元の方々の理解と触れ合いも大切だと考えており、ライフガード体験やキッズプログラムなどを開催し、私たちの活動を知ってもらえるようなプログラムも実施しています。

現在20代を中心に、上は35歳から下は高校生まで様々な年齢の男女が活躍しています。

アクセスも良く、電車で都内から一時間弱。シーズン中は宿舎もあるので湘南地域だけでなく、千葉や埼玉から参加しているメンバーもいます。

海が好きな健康でやる気のある方なら、どなたでも活躍できるのが鎌倉ライフガードです。現在、メンバー募集中!!ぜひ私たちと一緒に「安全・きれい・楽しい」海を作り上げていきましょう。

神奈川県ライフセービング連盟総会実施報告

本年度の神奈川県ライフセービング連盟総会を3月18日

に藤沢市内にて開催しました。加盟20クラブのうち11ク

ラブ(うち委任6)と連盟理事の参加により、前年度の事業報告および本年度の事業計画の議案承認が行なわれました。

また新理事として泉田昌美・内田直人が就任しました。

総会後の懇親会では、各クラブの現況を話し合いました。

地元地域との関係を深めるために日々の活動をしていることや、各クラブで合同練習会ができるならどうか、夏季監視シーズンの人材確保の難しさへの対応、などを意見交換しました。



サポートインストラクター 募集

講習時間	神奈川県連盟主催の各講習会のサポートインストラクター
仕事内容	インストラクターのサポート役(受講生の溺者役、機材搬出搬入の手伝いなど)
対象	開催講習の資格を所有している方(有効期限内の方)
募集人数	各講習会1日につき2名まで(募集定員に達した時点で締切)
お申込	神奈川県連盟のE-mailに右記事項を連絡。名前、住所、電話、所属クラブ、所有資格参加したい講習会期日 事務局からの返信を持って申込完了と致します。

編集後記

ゴールデンウィークも晴天が続き行楽が盛んな反面今年も悲しい水難事故のニュースが後を断ちません。

2分に1人が亡くなるという水難事故から、尊い命を守るためにみなさん一人一人の力が求められています。

KLFでは皆さんとのネットワークを高めていけるよう、年に2回機関誌PIER-01を発行しています。情報交換の場としてご利用いただければ幸いです。

神奈川県ライフセービング連盟事務局
遠藤恵子



神奈川県ライフセービング連盟
会報誌ピア01 通巻8号

発行 : KLF事務局

発行日 : 2006年05月20日

発行人 : 加藤道夫

編集 : 遠藤恵子 原伸輔

特定非営利法人

神奈川県ライフセービング連盟
〒251-0046

神奈川県藤沢市辻堂西海岸3-1-1辻堂海岸ビル2F

電話 0466-34-2243

FAX 0466-34-2257

URL www.lifesaving.ne.jp

Mail info@lifesaving.ne.jp